




起 案 用 紙				保存期間	1. 3. 5. 7. 10. 永		
起 案 年 月 日		令和元年 12月 / 9日		決 裁 年 月 日		令和元年 12月 / 9日	
起 案 者	所属	総務課		鴻環資組		発・収 第 号	
	氏名	今 井 剛 史 		決 裁 区 分		管理者・副管理者 事務局長・課長	
電話		(559) 3641					
施行・取扱上の注意			秘・至急・公印省略・その他 ()				
関係課合議 (参与)				副管理者	副管理者	管 理 者 	
文書主任	回 議	主 査	主 幹	課 長	事務局長 		
指示事項							
件 名	鴻巣行田北本環境資源組合正副管理者会議について						
	このことについて、次のとおり報告いたします。						
鴻巣行田北本環境資源組合正副管理者会議に出席しましたが、その結果は次のとおり報告するものです。							
記							
1. 日 時 令和元年12月12日(木) 午後6時00分から6時35分							
2. 場 所 鴻巣市教育支援センター 会議室							
3. 出席者及び会議資料 別紙のとおり							
4. 会議結果(次第に基づき管理者あいさつ後、議長として議事進行を行っていただいた)							
議題(1) 新施設建設等について							
議題(2) その他 ※その他についてはございませんでした							
●会議内容については別紙のとおり。							
公 印 使 用							
				裏面 (あり・なし)			

原口管理者：皆さんこんばんは。年末の大変お忙しい中、また議会中でありましてこの時間になりました。大変申し訳なく思っていますけれども、ご参集いただきまして本当にありがとうございます。本日、先ほど局長の方からもお話がありましたように、過日私の方でそれぞれで調整していただきたいとお願いをさせて頂いたところでございまして、その議題等について協議をさせて頂きたいと、そのように思っております。是非皆さんのご意見が一致するような形をとればとそのように思っておりますので、よろしくお願いを申し上げまして挨拶とさせていただきます。

山崎事務局長：ありがとうございました。それでは以降の議事進行につきましては原口管理者よりお願いをいたします。よろしくお願いをいたします。

原口管理者：それでは議事進行の方をさせていただきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いをいたします。お手元の会議次第にございます議題の順によりまして、議事を進行いたします。初めに議題1の新施設建設等についてであります。10月21日この正副管理者会議におきまして、私から構成市の市長として、各市議会との調整をしていただきたい、そのように提案させていただきまして、ご了解を頂いたところでございます。それぞれの市の協議事項について発表していただきたいと思っております。最初に私の方から発表させていただきますけれども、本市であります、11月中旬くらいまでにとすることでこの正副管理者会議の中でお話しさせていただきましたけれども、どうしても全員協議会を開く暇がございませんでした。私自身これまで6年間ありますけれども、この建設にあたりましては3市の合意ということを進めるべきであるということで議会と調整をしております。その中で再度確認の意味で全議員にご案内をさせていただきました。そのご案内の中では、組合事業、現在のこの鴻巣行田北本環境資源組合、この事業について継続をする意思とすることを表明させて頂きまして、その中では議員でありますけれども、多数の皆さんが了解をしていただいた。そういう状況でございまして、鴻巣市の状況につきましては、そのように意見が一致をしておる、そんな思いでもございます。それでは行田市さんの方から内容の方説明をしていただければそのように思います。

石井副管理者：11月1日に行田市は全員協議会を開かせていただきました。その中で内容の説明と事業の概算説明、ごみの減量化だとか、それとあと1点は行田に建設した場合と鴻巣市の方に建設した場合なんかの資料も全部出したうえで全員協議会に諮らせて頂きました。そんな中で議会の報告の方では、私たちはまだ決める立場にないというような報告を頂いているだけです。以上です。これは議長としてそのように報告をいただきました。

三宮副管理者：去る11月1日に全協をやりました。その日全員に、組合議員から概算事業費を全協の方に説明をして、それが終わった後、私の方から小針の方の事業費比較表を説明

し、全協が終わったというところでございます。それ以降特に公式に議会から何かあったということはございません。立場上は今あるこちらの構成議会が、最終的に判断すべきというようなことになるだろうと私はそう思いました。

原口管理者：わかりました。各市の状況でありますけれども、今発表していただいたとおりでございます。過日の組合議会で請願がございました。現在の建設地と小針を比較検討するべきであるというようなことの請願がございましたけれども、不採択となったわけでございます。採択となれば執行部として請願内容に沿った事務、これを進めなければならないことが求められたわけですが、不採択となったということは、組合議会の意思として今の建設地での事業を進めることが執行部に求められている、私はそのように判断をしております。そういう中でこの前の採択の件、あるいは今後の方向性、やはりもうこの時期まで来ておりますので、しっかりと方向性を一致させる、これが何より私は重要であろうというふうに思っておりますので、皆さんから何かご意見があればお話をさせて頂ければと思います。

石井副管理者：行田で3日くらい前から、行田の選挙管理委員会の方に住民投票という形の申請が出されているんですよ。行田市としては私としては、やはり市民の声と言うのを非常に大事にいつもしたいという形でやっておりますので、このままただ進めるっていうわけにもいかないから、私の方では少なくとも市民の声をきちんと聞いたうえで判断したいというふうに思っておりますのでよろしく願いいたします。特に広域分の新施設建設分についての予算だとか、そちらの方に関してもやはり市民の声を聞いてなければ出せないというような内容になってますのでよろしく願いいたします。

三宮副管理者：様々な歴史的な中で、地勢的なもの等々がそれぞれの市によって違うということの中で、これまで鴻巣市さんとは一部事務組合、迷惑施設を分担しながら長年やってきた経緯がございます。そういうことも含めて望ましいのは、より隣接しています現在の鴻巣市とこれからも進めていく必要があるのかなということが、様々な会議を何回かやる中で行政としてはそのような方向性を出しました。

原口管理者：正副管理者会議の中では私が正の管理者、行田市さん、北本市さん副管理者ということでありますので、ここで当然それぞれの市長としての立場の中で私は協議をした方がいいかなと思っております。方向性を見出すということは大変重要なことでありまして、まずは正副管理者会議を閉じさせて頂いて、そして市長会議という形でこの意見交換をできればというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

石井副管理者：いや、あの正副管理者会議の方がいいと思うんですよ。全部議事がきちんと

残るんでね…

原口管理者：いやいや、市長会議でも議事を残しますよ。

石井副管理者：今回そのようにやらなければいけない理由がありますか。ないんだったら…

原口管理者：それぞれの公平性。今、私が正管理者というふうになりますので、それらについては若干の立場が違う。市長同士であれば立場が同一だということで、公平ではないかなと思うんですけども、その辺はいかがでしょうか。

石井副管理者：私はあくまでも、今日は正副管理者会議という形なものですからそれで出席していますので、そのような形で進めていただければと思っておりますけどね。

三宮副管理者：前々回やった時には、記録を取らないということがあったんですが、今回きちんと記録を残すと。記録を残すということは情報公開の対象になるんだろうと思いますので、私の方は管理者が言うのであれば、それでもやぶさかではないというふうに思います。正式に公式文書で進めるということであれば。

石井副管理者：やっぱりあのきちんとした形でやっていかないと困っているんですよ。これからいろんな形で逆に言ったら質問もしたいしね…

原口管理者：もちろん正副管理者会議は、市長同士の話し合いの後にもう一度開きたいというふうに思うんですけども、暫時休憩という形で…

石井副管理者：暫時休憩できないでしょう。だって正副管理者会議だっていうから来ただけであってね。

原口管理者：もちろん正副管理者会議ですよ。

石井副管理者：じゃあ、いいじゃないですか、そのままです。

原口管理者：今2対1になっていますけれども。

石井副管理者：そんな多数決で決めるようなことじゃないからね、これね。初めからそういうような約束で来ているわけですからね。

原口管理者：まあ、そういうことであれば正副管理者会議の中で…

石井副管理者：それでなくては困るという理由をもう少し言ってくださいよ。

原口管理者：いや、ですから、それぞれの市の立場でお話をしていただければ、副管理者と言うことは組合の中での副管理者ですから、行田市の代表としての発言、若干違うと思うんですよ。あるいは北本市もそうですけれども、それぞれのその市の責任者としての発言、また副管理者としての発言というのは少しニュアンスが違うのかなと私は思うんですが。

石井副管理者：なぜかっていうとね、やっぱりあの、私だってあの副管理者であったって、当然行田市の代表として来ているわけですから、それによって変わるようなことはないしね。

原口管理者：じゃあ、それでよろしいですか。行田市の代表。まあもちろんそういうことになるんですけども。そういうことで、それぞれの発言ということでよろしいですか。

石井副管理者：はい。

原口管理者：よろしいですか。この正副管理者会議、そのまま続行させていただきます。もちろんこの組合として、これを一つの方向を向けていかななくてはならないというふうに私は思っております。只今の発言では行田市さんは、当然市民の意見を聞く、これどういう事かっていうのは様々あろうかなと思いますけれども、3市の合意っていう、3市の協定っていうものをどのように重く受け止めているのか、その辺が私はいかがなものかなというふうに思っております。私自身この3市の合意というのをしっかりと守っていくこと、これ今までの、それぞれの市議会、あるいはこの環境資源組合議会の皆さんがしっかりと議論をして、ここまで来ているわけです。行田市・北本市がこの4月に統一市長選挙で交代をされて、それから約8ヶ月くらいになりますけれども、協議を進めてきている。そういう中でなかなか一つの方向性を見いだせないというところでもあります。組合としてしっかりと一つまとまっていかななくては、これはもう、いたずらにこの協議を長引かせるということは大変財政的にも、あるいは市民に向けても私はいかがなものかなというふうに考えておまして、その辺について何かご意見があればお願いしたいなというふうに思います。

石井副管理者：前から言っているとおり、疑義があるんですよ。その土地の選定からすべて。それを明らかにしてそれからだって言っているんです。その辺の所がいつまでたってもないから、だからこうやって言っているだけで、だから疑義の部分をまず解明しましょうよ。そして私の方でも疑義よりも少なくとも今言っているのは、こうやって住民投票っていう